

《平成29年度 健康福祉部 組織目標》

◆目標管理者

部長	西 典子
理事	富安 知翔

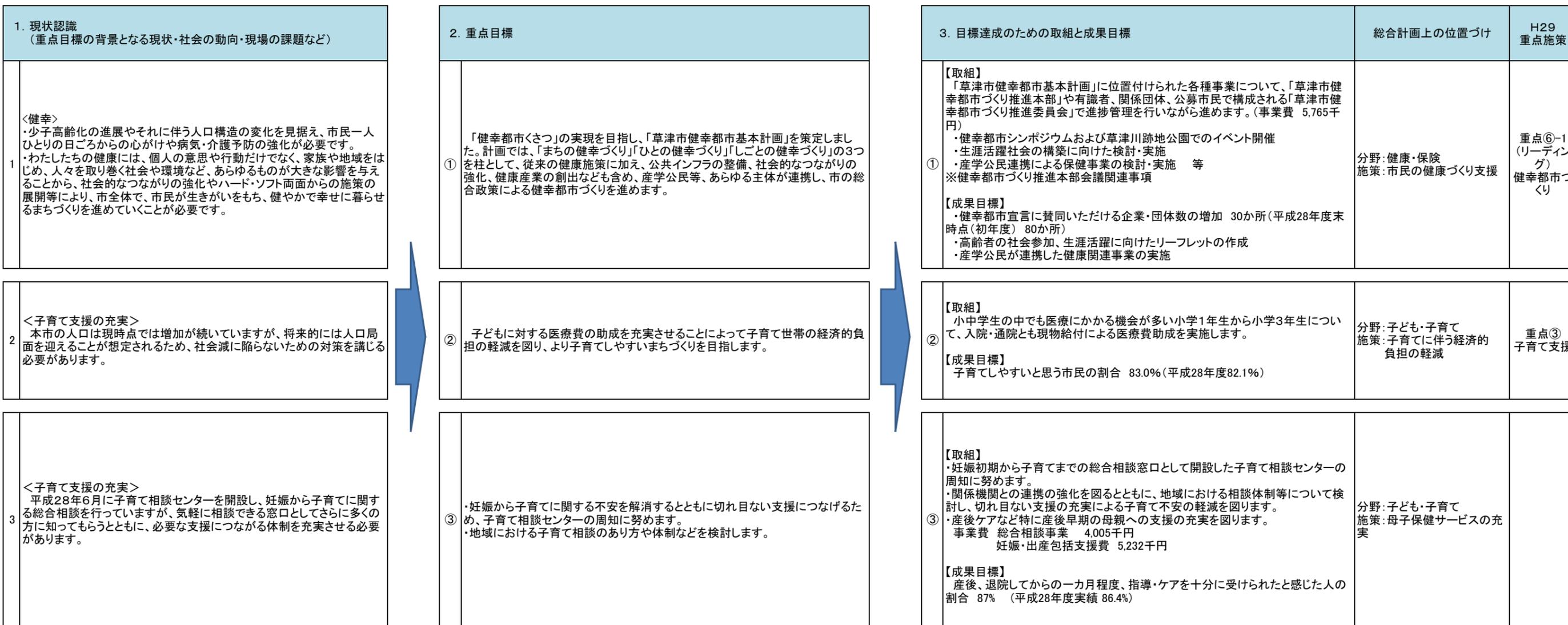
◆部局の役割・目標像

健康・医療・保険・福祉の充実を図り、「健幸で安心して暮らせるまちづくり」を進めます。

- ◆健幸都市づくりの取組を進めます。
- ◆妊娠から子育てまでの切れ目のない相談・支援・情報提供を行い、子育ての不安を軽減するとともに、医療機関との連携のもとで母子の心身の健康を守ります。
- ◆いきいきとした高齢社会の実現のため、長年の経験で培った豊かな知識や技能を生かした取組等から高齢期の健康と生きがいづくりを支援します。
- ◆高齢期にある人が安心して暮らせるよう、介護保険サービスや生活支援サービス等の適切な利用を支援するとともに、できるだけ長く住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域で支えあえる仕組みづくりを進めます。
- ◆障害のある人やない人、あるいは異なる障害のある人等の相互理解を深めながら、必要な生活支援を行うとともに、社会参加と自己実現の多様なニーズへの対応を図ります。
- ◆地域福祉の担い手の育成とそのネットワークの充実を図り、「地域力」を生かした福祉のまちづくりを進めます。
- ◆”誰もが健康で長生きできるまち草津”を目指し、生活習慣の改善等による疾病予防対策の強化や、地域社会の中での健康づくりを推進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。
- ◆国民健康保険制度等について、市民の制度理解が得られるよう啓発を進めながら、市民が安心して利用できるよう適正運用を堅持します。
- ◆経済的な困窮時等、市民の生活安定の危機に対して、適切な制度運用と生活安定・自立への支援を図ります。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)						当初予算規模(千円)		
	正規	特任	再任用	嘱託	臨時	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	5	0	0	0	0	5	—	—	—
健康福祉政策課	6	0	1	0	2	9	108,728	24,801	83,927
生活支援課	15	0	0	5	3	23	2,251,375	1,771,970	479,405
障害福祉課	10	0	0	6	2	18	2,230,644	1,522,282	708,362
健康増進課	21	0	0	12	8	41	828,552	97,350	731,202
地域保健課	9	0	0	1	1	11	281,193	210,281	70,912
長寿いきがい課	13	0	0	5	4	22	572,873	190,011	382,862
介護保険課	9	0	1	20	5	35	8,385,585	7,226,851	1,158,734
保険年金課	14	0	2	11	6	33	17,989,356	11,215,018	6,774,338
合計	102	0	4	60	31	197	32,648,306	22,258,564	10,389,742



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
4	<p><長寿・いきがい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加し、家庭の中の介護力が低下してきています。 ・疾患や障害を抱えながら自宅で療養する高齢者や認知症高齢者など、支援や介護を要する高齢者が増加しています。加えて、高齢者をとりまく地域との関係の希薄化が危惧されています。 ・高齢になるにつれ日常生活への不安が高まる中、できるだけ自立した生活が営めるよう、また、支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域に必要な医療や介護を受けながら、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指した地域包括ケアシステムの構築を進める必要があります。

5	<p><障害福祉></p> <p>障害のある人の暮らしを支えるサービスの充実を図り、「障害」と「障害のある人」への理解の促進と尊厳の保持に努め、社会のあらゆるバリアを無くし、福祉のまちづくりのさらなる推進に取り組む必要があります。</p>
---	---

6	<p><地域福祉></p> <p>少子高齢化や小世帯化、商店街の衰退等を背景に隣近所のつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。高齢者、障害者などの生活上の支援を要する人々が孤立しないよう、平成28年3月に策定した第3期地域福祉計画に基づき、「地域力」のあるまち草津 未来へつなぐ地域福祉 人にやさしい福祉のまちを理念として取り組んでいく必要があります。</p>
---	---

2. 重点目標	
④	<p>介護の必要な高齢者の在宅での生活を支えていくため、医療と介護の連携のもとで高齢者の退院・在宅復帰支援や、医療ケアが必要な高齢者の在宅生活支援の充実など、地域で安心して医療・介護サービスを受けることのできる基盤づくりに取り組めます。</p>

⑤	<p>「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」に向け、平成25年度に策定した「草津市認知症施策アクション・プラン」に基づき、一層の取り組みを進めます。特に、早期対応を目指した取り組みを進めます。</p>
---	---

⑥	<p>介護保険制度の改正により、4月から「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」を開始し、従来の介護サービス事業所のほか、NPO法人や民間企業などによる多様なサービスを展開するとともに、「参加」「活動」に重点を置いた介護予防を推進します。</p> <p>また、総合事業の介護予防・生活支援サービスと位置づけられた地域における住民主体による支援の充実に向け、住民同士の支え合いや見守り活動の促進を図ることで、独居高齢者や高齢者のみ世帯の人も安心して暮らせる地域づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加や生きがいづくり等を進めます。</p>
---	---

⑦	<p>・「障害のある人もない人も、誰もがいきいきと輝けるまち」の実現のため、「障害」と「障害のある人」への理解の促進のための啓発を行うとともに、障害のある人が安心して暮らすことができるための総合的な障害者施策を検討します。</p> <p>・障害者自身のニーズをくみ取りながら、適切なケアマネジメントを行います。</p>
---	---

⑧	<p>「地域力」を高めていくため、第3期草津市地域福祉計画に掲げる重点プログラム「地域の中で活動する人を広げる」「住民同士の暮らしに根ざした交流を深める」を重点目標とします。</p>
---	---

3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	H29 重点施策
④	<p>【取組】 (仮称)在宅療養支援センター機能の整備に向けて、医師会をはじめ多職種間との連携を図るため、在宅チーム医療推進地域リーダー会議(多職種合同会議)の開催やかかりつけ医紹介ルールのモデル運用を行うとともに、在宅療養に対する市民啓発に努めます。(事業費 318千円)</p> <p>【成果目標】 ・(仮称)在宅療養支援センターの設置(平成30年4月)</p>	分野:長寿・生きがい 施策:地域包括ケアシステムの推進	

⑤	<p>【取組】 認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」による、早期診断・早期対応に向けた支援を実施します。(事業費 2,197千円) また、ホームページからセルフチェックができる「認知症簡易チェックシステム」を導入します。</p> <p>【成果目標】 ・支援をした人のうち、医療・介護サービス等につながり引き継いだ方の割合60%(平成28年度実績 60%)</p>	分野:長寿・生きがい 施策:認知症対策の推進	
---	--	---------------------------	--

⑥	<p>【取組】 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)を実施し、多様なサービスを展開します。また、「参加」「活動」に重点を置いた介護予防の推進を図ります。(事業費 124,112千円)</p> <p>【成果目標】 ・短期集中予防サービスの実施 6クール (平成28年度実績 2クール「モデル事業」) ・地域サロンの開催累計箇所数 155カ所(平成28年度実績 149カ所)</p>	分野:長寿・生きがい 施策:地域包括ケアシステムの推進	重点④ 高齢者福祉
---	--	--------------------------------	--------------

⑦	<p>【取組】 住民同士の支え合いや見守り活動等の促進を図るため、生活支援コーディネーターを配置し、小学校区ごとに高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指し話し合いの場(協議体)の設置を進めます。(事業費 19,907千円)</p> <p>【成果目標】 小学校区ごとにおける話し合いの場(協議体)の設置数 14学区 (平成28年度実績 10学区「医療福祉を考える会議」)</p>	分野:長寿・生きがい 施策:地域包括ケアシステムの推進	重点④ 高齢者福祉
---	---	--------------------------------	--------------

⑧	<p>【取組】 ・障害者差別解消のための地域ネットワークの組織づくりを自立支援協議会で進めるとともに、障害者理解促進のための啓発を行います。</p> <p>・当事者アンケートや関係団体等のヒアリングを行い、障害者ニーズや課題を把握し、草津市障害者施策推進審議会において、本市にふさわしい障害者施策を検討します。(事業費 3,102千円)</p> <p>【成果目標】 中期の障害福祉サービスの目標値と各年度の見込量の設定</p>	分野:障害福祉 施策:障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	
---	---	---------------------------------------	--

⑨	<p>【取組】 障害福祉サービス等を利用する全ての障害者にサービス等利用計画を作成し、一人ひとりのニーズに適したサービスを提供します。(事業費 17,793千円)</p> <p>【成果目標】 計画作成等件数 1,116件 (平成28年度実績 1,010件)</p>	分野:障害福祉 施策:障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	
---	--	---------------------------------------	--

⑩	<p>【取組】 ・民生委員児童委員の活動を支援し、セーフティーネットの強化に努めます。(事業費 28,187千円) ・市社会福祉協議会を支援し、各種地域福祉関連事業を推進します。(事業費 3,281千円)</p> <p>【成果目標】 ・民生委員児童委員の活動内容や必要性についての周知・啓発 ・市社会福祉協議会による市民コーディネーター養成講座(連続講座5回、ステップアップ講座2回)の実施支援による地域福祉の担い手の育成 ・「地域支えあい運送」事業について、実施学区の拡大(平成28年度現状値 志津南 山田の2学区)</p>	分野:地域福祉 施策:地域福祉の担い手の育成と活躍の促進 地域福祉を支えるネットワークづくり	
---	---	--	--

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	H29 重点施策
<p>7</p> <p><健康> ・高齢化の進展や生活習慣病の増加等を背景に、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(健康寿命)の延伸が必要となつていきます。 ・第2次草津市食育推進計画では、男女ともに過剰な塩分、脂質の摂取や若い世代での野菜の摂取の不足、学童期から青年期の朝食の欠食などの食習慣の乱れに対する取り組みの推進が必要です。</p>	<p>⑨</p> <p>・乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康増進の取り組みを推進します。 ・市民一人ひとりが、食に関して知識・関心を高め、健全な食生活を実践してもらえるような取り組みを推進します。</p>	<p>⑪</p> <p>【取組】 健康くさつ21(第2次)および食育推進計画(第2次)を推進するため、栄養士会団体など関係団体との連携強化やライフステージに応じた健康づくり、生活習慣病予防に関する市民への啓発、健幸ポイント制度の実施、企業と連携した禁煙しようとする人への支援など、くさつヘルスアッププロジェクトに取り組みます。 (事業費)1,811千円</p> <p>【成果目標】 健幸ポイント制度参加人数 800人(平成28年度実績 703人)</p> <p>【取組】 女性特有のがん検診について、受診率の向上を図るためクーポン券を配布します。 (事業費)57,527千円</p> <p>【成果目標】 無料クーポンを利用した受診者数 子宮がん 1,019人(平成28年度実績 414人) 乳がん 1,035人(平成28年度実績 539人)</p>	<p>分野:健康・保険 施策:市民の健康づくり支援</p>	
<p>8</p> <p><健康> 少子高齢化や、家族機能の低下、地域のつながりの希薄化による地域コミュニティの脆弱化が進む中、個人や世帯の抱える健康課題は複雑化しています。こうしたことから、人々の健康を守るため、保健、医療、福祉、介護等の人々の暮らしに関わる各分野の関係機関が連携し、また市民との協働のもと、地域特性を生かした健康なまちづくりを推進することが求められます。</p>	<p>⑩</p> <p>個別の健康課題の解決に向けて関係機関等と連携を図りながら取り組むとともに、住民参加のもと地域特性を踏まえた健康づくりの支援の充実を目指します。</p>	<p>⑫</p> <p>【取組】 ・保健師の地区担当制の体制により、すべてのライフステージの住民の相談に応じ、関係機関等との連携を図りながら支援を行います。 ・個人の健康課題の共通点や地域特性から、地域の健康課題を総合的に捉え、関係機関との連携や住民との協働のもと、健康なまちづくりの推進を図ります。 (事業費)281,193千円</p> <p>【成果目標】 健康に関する地域特性の情報提供を行った小学校区数 14学区</p>	<p>分野:健康・保険 施策:市民の健康づくり支援</p>	
<p>9</p> <p><保険> ・高齢化の進展や医療の高度化に加え、保険料の負担能力が低い方々の加入割合が高いなど、国民健康保険制度の運営は厳しい状況です。 ・平成28年度に策定しました草津市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)のデータ分析結果では、若い世代(40歳代以降)の糖尿病を含む生活習慣病患者の医療費の適正化や生活習慣病の重症化予防が健康課題となっています。 ・生活習慣病の早期発見や予防を図るために実施する特定健康診査の受診率および特定保健指導の実施率が低い状況が続いています。</p>	<p>⑪</p> <p>生活習慣病の早期発見や予防を図るため、特定健康診査の受診率および特定保健指導の実施率の向上に向けた取り組みや協会けんぽとの事業連携により集団健診の実施および特定保健指導への利用勧奨を行います。</p>	<p>⑬</p> <p>【取組】 ・特定健康診査の未受診者には、引き続き本市の保健師(嘱託職員)が通知および電話等による受診勧奨を実施します。 ・特定保健指導の対象者には、土日に利用勧奨および指導を実施します。 ・協会けんぽとの事業連携による集団健診を実施し、受診機会の確保に向けた環境を整えます。</p> <p>【成果目標】 ・平成29年度 特定健康診査実施率達成目標 60% ・平成29年度 特定保健指導実施率達成目標 60%</p>	<p>分野:健康・保険 施策:国民健康保険制度の運用</p>	
<p>10</p> <p><生活安心> 働きたくても働けない、住む場所がない、また非正規・低賃金就労等の理由により、生活に困窮する人々が多く、セーフティネットの整備が求められています。</p>	<p>⑫</p> <p>相談者の実情に合わせて、早期の自立支援を図る生活困窮者自立支援事業と、直接生活費の給付を行なう生活保護制度を効果的に適用し、生活安定の支援を行います。</p>	<p>⑭</p> <p>【取組】 生活困窮者自立支援事業として、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援、一時生活支援の各事業を実施し、福祉の総合的な相談窓口としての取り組みを行います。また生活保護が必要な方には生活保護を速やかに適用します。 (事業費 生活困窮者自立支援事業:15,894千円、生活保護:1,937,153千円)</p> <p>【成果目標】 ・生活困窮者自立支援事業の実施による生活安定の支援を行います。 ・生活保護の必要な方には、速やかに生活保護を適用し、最低限度の生活を保障するとともに、自立への支援をします。</p>	<p>分野:生活安心 施策:セーフティネットの充実</p>	
<p>11</p> <p><健幸・子育て支援の充実・長寿・いきがい・障害福祉・地域福祉・健康・保険・生活安心> 平成29年度は、国の制度改正等に伴い、「健康くさつ21」や「あんしんいきいきプラン」、「障害者計画」等、健康福祉関連計画の改定等が必要です。</p>	<p>⑬</p> <p>第5次総合計画第3期基本計画や健幸都市基本計画を踏まえ、各計画の改定等を進めます。</p>	<p>⑮</p> <p>【取組】 各計画に関する本市の現状分析、市民ニーズの把握等を行い、課題解決に向けて各計画の改定等を実施します。 [平成29年度に改定を予定している健康福祉部内の計画] ・健康くさつ21(健康増進課) ・草津市糖尿病対策ガイドライン(健康増進課) ・草津市食育推進計画(健康増進課) ・草津市特定健康診査等実施計画(保険年金課) ・国保データヘルス計画(保険年金課) ・草津あんしんいきいきプラン(長寿いきがい課) ・草津市認知症施策アクション・プラン(長寿いきがい課) ・草津市障害者計画(障害福祉課) ・草津市障害福祉計画(障害福祉課) ・草津市地域福祉計画(健康福祉政策課)</p> <p>【成果目標】 上記健康福祉関連計画の改定</p>	<p>分野:健康・保険 施策:市民の健康づくり支援</p>	